

【22_264クロガキメルマガ】トレードパフォーマンスを安定させる秘訣『マル秘レポート』を共有します

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日のメルマガ、予め皆さんにお詫びしておきます。

「めっちゃ長い」です。

ただ、長い分だけ大事な話載せきってるので、最後まで是非お付き合いください。

日々受け取る質問メールは全部目を通してはいるのですが、「なかなか勝ちきれなくて…」という悩みのお便りが本当に後を絶ちません。

その人たちの中には、やり取りが長い人も結構多くて、検証も凄く一生懸命に取り組んでいるし
フォワードテストをしてもプラス収支で終われる時もある。

だけど、“継続的”に勝ちきれない。2~3カ月するとどこかで調子を崩して、そこから立ち直れないという人が多いようです。

そこで、「安定させる秘訣」が何かあるのか？という事をよく聞かれるわけです。

考えた事があるようで、意外と考えた事のなかった問いなので、この夏を通してずっと考えていました。

正直、この点に対して僕の中では特別な意識がなかったので

これだけ質問も多いという事で、これを機に考えてみました。

本当はこのアウトプットを、8月中にレポートにまとめてお送りするつもりだったのですが

データが飛んだり、作っては直し、、、を繰り返していたら9月も後半になっていました。

我ながら何という仕事の遅さか！という感じですが、大変お待たせしてすみませんでした。

先に結論から述べておくと、特別な秘訣と言える「これ！」と単純化できるものはなく

基本的には『(勝っても負けても)自分のトレードに納得出来る事』

結局はこれに尽きます。

ですがこれは、僕が日々のトレードにおいて、常に意識をしていて最も大事にしている事です。

非常に抽象的な表現なので、先に断っておきますが

これはメンタルを鍛えるとか、気持ちだけでどうにかなるような話ではありません(笑)

これは僕も常々お伝えしている、最終的にトレードは『資金を守り、稼ぎ続けなければ意味がない』という前提のもとに

『トレードで勝つ事』『収支を+にする事』

これらを踏まえて『ロットを上げてても“稼ぎ続けられる”事』

これらを実現する為に必要な『考え方』です。

もう少し具体的に、順を追って説明をしますね。

まず、改めて僕のトレードスタイルですが

ひと言で言えば、、、

～～

常にリスクは限定(大きくても5%まで)し、『週利回り10%』を達成できるように

リスクリワード1:2~3を確保できる場面で、短期(マーケットタイムを跨がない)デイトレを行う

～～

こんな感じです。

テクニック面を含む詳細についてこれまでにまとめてきた資料などを再構築して

今の考えを反映した形でレポートとしてみました。

本当はこれを8月中に皆さんへお送りするつもりだったのですが、本当にお待たせしました。

▼クロのトレードスタイルレポート▼

<https://kuro-gaki.com/kuro-style.pdf>

実際このスタイルで、僕は毎月結果を出しています。

週利の目標については、達成したりしなかったりしますが、月単位での平均利回りは30~40%くらいです。

もちろん、その月によって相場との相性の良し悪しがあるので、ある月の利回りは80%出たり

別の月は20%くらいだったりバラつきがあることは含んでおきます。

詳しくは、先ほどのレポートに口座履歴を載せてあるので、見てみたい方は自由にご覧ください。
(尚、一応SNS等にスクショ等で二次掲載する等をご遠慮願います)

レポートに記載されているスタイル通りの取引になっている事がわかりいただけだと思います。

話を戻します。

冒頭で言った『自分のトレードに納得できる事』

についてですが、読み進める前にちょっとの時間でいいので、自分のトレードに対しての「納得度」を考えてみてください。

これは言い方を変えれば

エントリーしたポジションが、『どんな結果になっても悔いが残らない事』です。

もう少しエモっぽい表現をするのならば

「今の自分が出来る分析や検証は全てやってきたのだから全ての結果を受け入れるよ(微笑)」
という感じですかね(笑)

これが出来ているから、ロットを上げて同じ様なトレードを再現して結果を残せるし
淡々と同じようなトレードを繰り返して『トータルプラス収支』を目指すことが出来るわけです。

これに行き着いた僕の中でのターニングポイントは、その昔検証に明け暮れていた頃の話になる
のですが

結局のところ、『相場の先行きは誰にも分からないという事実』に気付いた事です。

確かに、精度の高い分析技術をもって、勝率を上げる事はできます。

でも、未来は誰にもわからないというのは紛れもない事実であり、それを否定する事はどんな技
術をもってしても不可能です。

どんなに鉄板だと思える場面でも、相場がその目線を否定する動きをすれば負けるのです。

そもそも、その事実を受け容れているから、僕らは「損切り」をするんですよね？

ここで負けても切り替えて、次回も同じ様にトレードをしていくのか？

一から検証をし直して新たなルールで出直すのか？

そこは人それぞれでしょうけれども

いずれにしても、自分の中である程度落とすところを付けないと

負けた事実やショックを引きずってしまい、無駄なトレードをしたり、完璧な答えを求めて検証して
しまい、エントリーチャンスが無いルールを作ってしまったたり、益々勝ちから遠ざかる行動をとって
しまうのです。

そこで重要になってくるのが、エントリー後の結果を受けてからの『納得度』なのです。

後悔するくらいならそもそもやるな、とも言える話ですが

今の自分がいつも通りに出来る事をやった結果なのだと胸を張って言えるかどうか？

最後に根拠を詰めた上で、『覚悟』を決められる状態を常に作れることが一番大事だと考えています。

是非、この視点で
これまでの自身のトレードスタイルを振り返ってみてくださいね。

今回のメールは以上ですが、抽象的なうえに、長かったので落とし込むのが大変かと思います。

そこで次回は、その『納得いく行動』を実践する為にどんな取り組みをするべきなのか？

について説明していきます。